

革新懇の三つの共同目標

- ① 経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ② 憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③ 日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

# 鳥取県革新懇ニュース

No.38

2013年  
1月10日

〒680-0811 鳥取県鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)  
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172



## 脱原発の願い込め

### パレードや餅つきなど多彩に

東日本大震災からちょうど1年8カ月になる11月11日を中心に、全国の動きに呼応して鳥取県内でも「脱原発」を求める集会が開かれ、各地の市民に「原発ゼロ」への運動強化を訴えました。

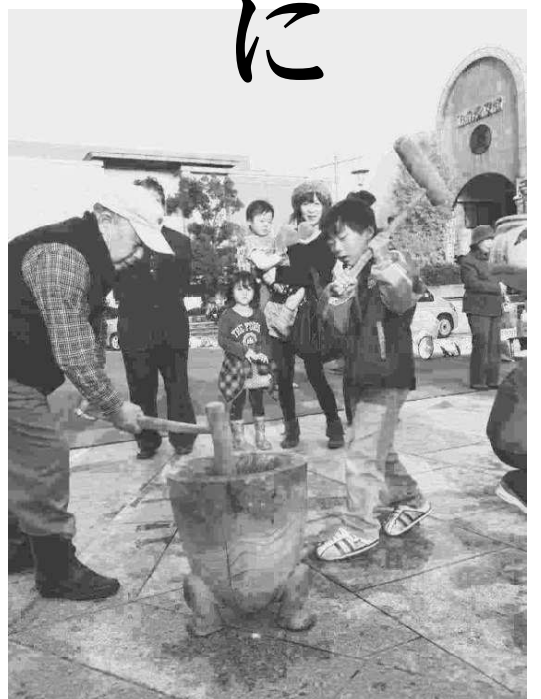
大占拠にシンクロする鳥取パレード。「脱原発な人々@とっとり」の呼びかけに応え約100人が、脱原発への思いを書き記した黄色の布を持ち寄ってJR鳥取駅北口に集合しました。その布を連ねて張り渡した広場でリレートーク。エネルギー

の未来を考える会(えねみら・とっとり)共同代表の手塚智子さんは「島根原発3号機も上関原発もつくる必要がない」と強調しました。

集会のあと、参加者は願いを込めた黄色の布を風にはためかせながら鳥取市役所までパレードし、道ゆく市民に原発ゼロをアピールしました。

集会翌日の12日、主催団体の山中幸子さん、県革新懇事務局長の田村真弓・新婦人県本部事務局長らが中国電力島根支社(松江市)を訪ね、「即時原発ゼロを求めるアピール」を届けました。

米子市では、JR米子駅前のだんだん広場に約100人が参加。震災復興支援のフリーマーケットやリレートーク、原発ゼロを訴えるアーティストのライブが行われました。趣旨に賛同したアメリカ人の飛び入りピアノ演奏もあって盛り上がりました。原発ゼロまで「粘りましょう」との決意を込めてつきあげた餅は、みんなできなご餅にしてください、団結の象徴になりました。



先の衆議院選挙では、原発問題が大きな争点で、どの党が「即時原発ゼロ」を願う国民の声に正面から応えてくれるのか、国民の審判眼が問われました。多数政党の乱立の中で残念ながら、これまで一貫して原発推進の中心的勢力だった自民党が第一党に復帰しました。

脱原発の運動は、各地で展開されており、鳥取県でも多彩な取り組みが行われています。ところが県内には、その活動の教訓を共有する場がありません。こうした「原発ゼロ」を目指す県民の運動をさらに発展させる。

それぞれの団体が開く集会や行動に相互協力をした「原発ゼロ」の一点で共同してイベントに取り組んだりすることができるともありません。既に鳥取県内でも始まっている、再生

できるだけ幅広い団体や個人に呼びかけ、「原発をなくす鳥取県の会」(仮称)の結成に向けた準備会を開催できるように取り組みを始めました。年明けには準備会を開き、結成



## 「原発ゼロ」準備会を

た。それだけに、新政権に脱原発を迫る運動の一層の強化が求められています。そこで県革新懇は、こうした活動の母体になる団体づくりに取り組んでいきます。

せ、県民世論を一層盛り上げていくためには、多面的な取り組みをされている団体や個人が集い、活動の経験をともに学び、共同の輪を広げていくことが大切だと、県革新懇は考えていま

可能エネルギーの事業者とも手を携えていきたいものです。こうした取り組みが、いまだに原発にしがみついている人々を大きく包囲することに繋がると思っています。

が主導して集会を開けるよう取り組んでいく決意です。多くの仲間に参加を呼びかけます。

にこぎ着けた  
いものです。  
大震災2周年  
になる3月11  
日に、この会



# 従業員 2年で6分の1に 三洋CEBUの無法は許されない

電機・情報産業の大企業による大リストラが社会問題化している中で、県革新懇も参加して「鳥取の雇用と地域経済を守る連絡会」（会長 田中暁・県労連議長）が昨年9月26日に発足しました。当面、三洋電機CEBU（コンシューマエレクトロニクス・ビジネスユニット）の新会社移行を最重要課題と位置づけて、雇用と地域経済を守る両面から取り組みを強めています。

三洋電機CEBUは、旧鳥取三洋電機の後身会社・三洋CEを母体とする三洋電機の事業部門として2012年4月に発足したばかりです。ところがわずか一年を経ずして、今年1月には三洋電機の100%子会社「テガ三洋工業」に譲渡され、両事業所にいる約430人の今の従業員は転籍や三洋電機の他事業所への配置転換、早期退職を迫られているのです。

計画と伝えられます。しかし、①「テガ」での仕事内容が不明確 ②3年後に退職金の変更される ③個別の労働条件が分らない など、転籍などに応じるかどうか判断する材料が示されていません。転籍を希望しても「不合格」される従業員もでてきます。

旧鳥取三洋電機グループは2011年暮れ、パナソニックによる吸収合併に伴う事業再編で、約1200人いた従業員をおよそ3分の1に削減しており、それをさらに半分にしようというのです。その中で、夫婦を違う県外事業所に配置転換するなど、退職強要とみられる事例も起こっています。

三洋電機のやり方は、二つの点で看過できません。一つは本社から完全子会社に譲渡する、つまり右手から左手に移したただけで、従業員を大リストラし、給与も大幅削減（組合ニュースでは約25%削減）する、従業員を人間扱いしない手法です。もう一つは、関連

企業や地域に与える打撃を顧みない姿勢です。三洋再編は、県と鳥取市が出資する第三セクター・障がい者福祉工場「千代三洋工業」にも波及し、同社の従業員の半数が希望退職させられるといわれています。

事業再編を名目に電機・情報通信の大企業は、やりたい放題です。「連絡会」はこれを許さず、苦悩する従業員を励ましながら立ち上がることを促し、県や鳥取市、労働局などに働きかけを行っています。身近に三洋従業員がいる人は、温かい支援をお願いします。



三洋門前で労働者にピラを渡す連絡会のみなさん

## <県革新懇定期総会以降の取り組み>

- 6月24日 第33回定期総会
- 7月11日 在鳥世話人・事務局会議
- 7月17日 第1回財政会議
- 7月20日 鳥取県にオスプレイ配備計画中止を求める申し入れ
- 7月27日 第1回政策運動部会
- 8月6日 第1回機関紙(編集)部会
- 8月9日 第1回組織部会
- 8月21日 第1回代表世話人・事務局会議
- 9月1日 事務所開設(鳥取県労働組合総連合内)
- 9月2日 原発ゼロ1000人松江集会へ参加(鳥取から約280人)
- 9月4日 第2回政策運動部会
- 9月5日 県ニュース9月号印刷・発行(10日付け)
- 9月12日 鳥取の雇用と地域経済を守る運総会
- 9月18日 第2回代表世話人・事務局会議
- 9月23日 第1回世話人会議
- 10月16日 在鳥世話人・事務局会議
- 10月30日 「原発をなくす鳥取県の会」(仮称)設立の打合せ
- 11月5日 県ニュース号外発行(脱原発「11・11鳥取パレード」案内)
- 11月10日 脱原発「11・10集会」境港市
- 11月11日 脱原発「11・11集会」鳥取市・米子市
- 11月20日 在鳥世話人・事務局会議
- 12月1日 第2回機関紙(編集)部会

## 新日本婦人の会

### 鳥取県本部創立50周年を迎えて

新日本婦人の会鳥取県本部事務局 田村真弓



新婦人鳥取県本部は11月4日、創立50周年のつどいを日本海新聞社中部本社の大ホールで行ないました。つどいには、中央本部より笠井喜美代会長が来県し、「女性の力つなごう未来へ」と記念講演しました。また、各支部から「原爆展」や子育てアンケートの取り組みの報告、赤ちゃんマッサージの実演、サークルの作品展や班活動の報告など全県の交流を深めました。

新婦人鳥取県本部は1963年3月17日に米子市公会堂で318名という会員数で発足しています。当時、女性有権者比でいえば全国の中でも大きな組織としてスタートしています。当時の役員は故南久仁さんや、大谷輝子さんたちの並々ならぬ努力と、それに応えられた女性たちの熱い期待のなかでの誕生でした。

創立当時から、会は女性たちのさまざまな要求を取り上げてきました。50年の記念集を読むと創立当時はなんとと言っても産休明けからの保育所づくりの運動に

力を注いでいたことがわかります。保育所ができるまで、子どもを産むという市長の暴言にもくじけず、粘り強い交渉、時には市長室で泣きながらの直談判など、一歩も引かない当時の女性の力強さ・粘り強さに脱帽します。学校給食の脱脂粉乳を生乳に切り替えさせる運動、子どもの医療費無料化の運動、学童保育所づくり、交通事故から子どもを守るために信号や街灯をつけさせる運動、安全な食品の共同購入など、取り組んだ運動は枚挙にいとまが無いほどです。そして新婦人の50年の歴史は、平和を守り、核兵器廃絶運動の歴史でもあります。新婦人は会の5つの目的のうち3つが平和に関するものです。

す。ヒロシマ・ナガサキの惨劇を二度と子どもたちにもたらしてはならないと、会員が身近なところから「核兵器なくそう」と署名に運動に取り組み、国連軍縮会議やNPT再検討会議(核不拡散条約再検討会議)に代表を送ってきました。

## 困ったときは、一人で悩まず、まず相談を!

解雇、退職強要、賃金不払い、セクハラ・パワハラ、サービス残業、有給休暇、社会保険、労災など労働に関するご相談は

フリーダイヤル 0120-378-060

(相談無料・秘密厳守)

鳥取県労働組合総連合(鳥取県労連)

〒680-0811 鳥取市西品治806

TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

メール torioren@titan.ocn.ne.jp